

# 都道府県知事応援メッセージ

vol.2

東日本大震災は観光業にも大きな打撃を与えた。観光・旅行の低迷は地域経済の弱体化につながりかねない。観光経済新聞社は観光の重要性を認識する全国の都道府県知事に東北、そして観光業界への応援メッセージをいただいた。数回に分け、掲載する。(順不同)

# がんばれ東北 がんばれ観光業界

## 青森県



三村申吾知事

青森県では、4月23日から7月22日までの3カ月間、東北および日本の元気回復のための取組の1つとして、「がんばろう日本！がんばろう東北！」をサブタイトルに、「青森デスティネーションキャンペーン(青森DC)」を展開中です。青森DCが復興に向けた契機となるよう、関係者が一丸となって取り組んでいます。

「東北はひとつ！」という熱い思いを胸に、青森県は東北復興の先頭に立って頑張ります。

## 福島県



佐藤雄平知事

この度の東日本大震災における全国の皆様の御支援に、心から感謝を申し上げます。今回の震災で本県は未曾有の被害を被りましたが、皆様の温かい御支援を支えに、復興に向け、県民は今まさにがんばっております。

本県は県土も広く、震災の被害がない地域もあり、皆様がこの地域にお越しいただくことは、福島の観光復興と元気再生の大きな力となります。

樹齢が千年を超え、日本三大桜と称される三春の滝桜が今年も満開の花を咲かせたように、福島県は震災前と変わらず皆様を温かくお迎えしております。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

## 栃木県



福田富一知事

東日本大震災で被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。現在、国をあげて被災地の方々への応援や支援を行っており、被災地の一日も早い復興を願っております。

しかし、農産物や観光への風評被害等、課題は山積しております。栃木県も「とちぎ観光安全宣言」や「一家族・一旅行運動」など、とちぎから発信する元気の輪が全国に広がるよう取り組んでいます。観光でまちを元気にするため、共に頑張らしましょう。

## 群馬県



大澤正明知事

東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。震災以後、温泉地をはじめとする観光地ではキャンセルが相次ぎ、地域経済にも大きな影響が出ています。

本県では4月20日に「ぐんま観光元気宣言」を行い、観光を通じて全国に元気を発信する決意をしたところです。被災地の皆様、そして元気回復の源である観光業の一日も早い復興を本県は応援します。また、7月からは群馬デスティネーションキャンペーンもはじまります。ぜひ群馬へいらして下さい。

## 長野県



阿部守一知事

東日本大震災により、日本はかつてない窮地に立たされています。このような中で私たちがなすべきことは、被災地のため、日本のために、積極的に経済活動を進めることではないでしょうか。被災地に思いを寄せることは大切ですが、そのことによって経済全体を萎縮させてはなりません。

幸い、長野県の観光地は元気にお客様をお迎えできます。長野県は、観光立県として、多くのお客様をお迎えし、長野県の元気で被災地を応援したいと考えています。信州を元気に、元気な信州が被災地の復興を応援します。

## 山梨県



横内正明知事

東日本大震災により被災された方々に、改めて心からお見舞い申し上げます。山梨県は、地震による直接の被害はなかったものの、旅行や宿泊のキャンセルが相次ぎ、県内の観光業は大きな打撃を受けています。しかし、山梨の観光地はどれも安全ですので、ご安心の上お越しください。

観光は人々に元気を与えます。そして、各地域が観光客の笑顔で一杯になることが、被災者や東北地方の支えにもつながります。観光に関わる全ての人が力を合わせ、日本を元気にしていきましょう。

## 富山県



石井隆一知事

東日本大震災により未曾有の被害を受けた被災地の皆さんがこの苦境を乗り越え、穏やかな生活を取り戻すことができるよう、今後とも富山県民を挙げて支援を続けてまいります。

今、大切なのは、過度な自粛等による停滞したムードを吹き払い、人々に喜びと感動を与え、かつ経済波及効果の大きい観光への需要を喚起していくことです。本県においても、富山の魅力を日本の内外に発信し、観光復興を通じて、被災地支援に寄与してまいります。被災地の一日も早い復興を心より祈念申し上げます。

## 石川県



谷本正憲知事

東日本大震災で被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。私たちは、多くの方々に本県へお越しいただき、観光の復興を通して石川が元気になることが、ひいては、被災地の早期復興にもつながるとの思いで、観光団体などの皆様と連携して、官民挙げて、過度な自粛ムードを払拭し、普段通りの消費・経済活動を行うことを確認したところです。

また、県内温泉旅館でも、宿泊料金の一部を被災地へ寄付する取り組みを行っており、今後もあらゆる面で、出来る限りの支援を行ってまいります。

## 福井県



西川一誠知事

東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。震災により様々な分野で影響が生じていますが、観光を元気にすることが地域を活性化し、国全体の復興につながると思っています。

そこで、福井県では、県のホームページで観光イベント情報を発信するとともに、県内外で積極的な誘客PRを行うなど、「元気回復福井観光キャンペーン」を実施しています。一日も早い復興のため、今後も福井から元気を送り続けたいと思いますので、被災地や観光業界の皆様、共にがんばっていきましょう。

## 三重県



鈴木英敬知事

この度の震災により被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。震災による影響が多方面で発生していますが、今必要とされるのは、被災地の復興に向け、皆が一丸となって「日本の元気」を積極的に発信していく姿です。

その1つとして、ここ三重県からも、豊かな観光資源を生かし、観光を通じた経済の活性化を図ることで、復興に取り組む皆様の生活を支える役割を果たしたいと考えています。今こそ皆が心を一つにし、日本の元気を取り戻しましょう。

## 大阪府



橋下徹知事

東日本大震災により被災された皆さんに、心からお見舞い申し上げます。大阪府では、これからもスタッフの派遣や物資の提供、被災者の受け入れなど、全力で皆さんを応援します。

また、大阪府では「がんばろう！日本～大阪・関西から元気を！」を合言葉に、観光インバウンド拡大のための取り組みを進めています。

被災地の皆さん、ともに力を合わせて、東日本の復興、日本の再生に向かって前進していきましょう。

## 鳥取県



平井伸治知事

裾野の広い観光産業の停滞は、日本経済に多大な影響を及ぼすものであり、現状の国外での風評被害や国内の自粛ムードを一刻も早く払拭するためには、まずは被災を免れた地域から観光で「日本の元気」を積極的に発信することが重要です。そしてそのことが、被災地への経済的かつ精神的な応援にもつながると考えます。

そこで、鳥取県は被災地への様々な支援に加えて、「鳥取発！がんばろう日本！」を合言葉に、いち早く日本を元気にする観光誘客キャンペーンを観光関係者と一丸となって展開しています。被災地の一日も早い復興をお祈りするとともに、日本全体が「元気」になるよう、鳥取県も皆さまと一緒に、日本を盛りたてて参ります。

## 島根県



溝口善兵衛知事

東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。今回の難局を乗り越えていくためには、国民の一致団結した取り組みが大切です。島根県では「ヤマタノオロチ退治」や「国譲り神話」など島根を舞台とした神話が多く登場する日本最古の歴史書「古事記」の編纂から平成24年で1300年を迎えることから、古事記などに縁のある県と連携した観光プロジェクトを展開していきます。

地方が連携して国内外の観光交流が活発になること、そして何よりも被災地の一刻も早い復興を切にお祈りしています。

## 福岡県



小川洋知事

東日本大震災で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。震災と原発事故の影響で、観光業界も大きな打撃を受けました。わが国が活力を取り戻すためにも、裾野の広い観光産業の復興が重要です。多くの観光地が賑わいを取り戻せるよう、海外に向け積極的に情報発信を行い風評被害を払拭するとともに、国内でも過度の自粛から脱することが大事です。これからは福岡県は皆さまと一丸となり観光産業の復興と被災地の復興支援に取り組んでまいります。私は「元気」を西から、全国に広げます。

## 大分県



広瀬勝貞知事

今回の震災による自粛ムードの広がりや風評被害等で、別府・由布院など国内有数の観光地を持つ本県の観光業界も大きな影響を受けていますが、東日本の復興のためには、日本経済の維持・発展が重要であり、日本経済を支える柱の1つである観光産業の復興は欠かせません。

私も、九州地方知事会長として、各県知事や観光関係者と一緒に、アジア各国に出向き、トップセールスを行っております。東日本の復興を支える気概を持って、今後とも観光復興に全力を尽くします。東日本の一日も早い復興を心からお祈りします。

## 宮崎県



河野俊嗣知事

この度の東日本大震災において、犠牲となられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

本県では昨年、高病原性鳥インフルエンザ、新燃岳の噴火という一連の災害の中で、全国の皆様から温かい御支援をいただきました。本県といたしましては、「宮崎感謝プロジェクト」として、今回被災された皆様や災害により疲弊した観光業界のニーズに応じた支援を続けてまいりたいと考えております。